

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2024-2025 年度テーマ

第 65 代会長 杉田 祐一

第 65 代幹事 木村 信一

Painted by Kenzo Tanaka

ロータリーの
マジック

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2025 年 3 月 27 日(木) 第3099回例会 天候:晴れ 司会:小澤雅彦副幹事 No. 33

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱 「それこそロータリー」「覇気あれ我クラブ」 ◇入会セレモニー[小山 亮君]
- ◇会長挨拶 ◇幹事報告
- ◇卓話 杉田祐一君 「みらい計画委員会」

◎入会セレモニー 新会員 小山 亮君(紹介者:大森翔平君 樋口康雄君) ◎歓迎の歌:奉仕の理想 →

◆ガバナー事務所より

◎表彰 ☆米山功労者 第10回メジャードナー 成田栄二君(感謝状・襟章 授与) ☆米山功労者 第1回 細井年春君(感謝状 授与)

◎幹事報告

◆ガバナー事務所より

◇次年度クラブ幹事研修のご案内 ●5/10(土) 1

0:00~12:00 ●第一相澤ビル 8階会議室

◇第9回 日台ロータリー親善会議 札幌大会 5/30前夜祭(サッポロビール園) 受付終了のお知らせ

◆米山記念奨学会より 『ハイライトよねやま300』… 全会員へ配信済み

◆米山梅吉記念館より ◇米山梅吉記念館 「館報」 春号 2025 Vol.45

◇春季例祭の通知 ・4/19(土) 14:00~ ・米山梅吉記念館ホール ◇賛助会ご入会のお願い ●賛助会員

①米山記念館コーポレーター(クラブ単位) 会費:一口 10,000円/年 ②米山記念館フェロー(個人単位) 会費:一口 3,000円/年 ●特別寄付

◆「ちがさき産業フェアにおける End Polio Nowキャンペーン」のお知らせ ●4/19(土)・4/20(日) 10:00~16:00 ●両日とも 第一カッターきいろ公園 ●要請参加者:各クラブより一日当たり 8名(午前、午後で4コマ×2名程度・・・多ければ多いほど良い)

◎活動内容:募金活動・射的・設営準備・撤収作業

◆タウンニュース



スマイル報告 富田桂司会員

杉田祐一君&木村信一君 小山さん、入会おめでとうございます。仲間として活動できることをとてもうれしく思います。成田さん、細井さん、米山へのご支援に深く感謝を申し上げます。本日は拙い卓話となりますが、どうぞよろしく願いいたします。

成田栄二君 小山さん、入会おめでとうございます。会長の卓話、楽しみにしています。

和田幸男君 小山さん、入会おめでとうございます。

岩澤あゆみ君 小山さん、入会おめでとうございます。これから楽しく一緒に活動しましょうね。クラブソングにもあるように「この町の礎を作るために」行ってきた奉仕活動。「語り合い、これからは覇気あるクラブでありつづけるために」何をしてゆか。本日杉田会長が卓話をしてくださいませ。杉田会長、よろしく願いします。

吉田恵子君 小山さん入会おめでとうございます。成田さん、細井さんおめでとうございます。昨日用事で東京迄行ってまいりましたが、サクラは全く咲いていませんでした。

出席報告 菅野 敦会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
3/27	3099	48	45+					
3/6	3097	47	44+1	35	1+0	9	80.00%	80.00%

加瀬義明君 小山さん、入会おめでとうございます。今後とも宜しくお願い致します。成田さん、細井さん、米山功労者表彰おめでとうございます。杉田会長、卓話よろしくお願い致します。

富田桂司君 皆様今日は初夏のような気温ですが、3月最後の例会ですね。小山亮君、御入会おめでとうございます。成田さん、細井さん、米山功労者表彰おめでとうございます。杉田会長、卓話拝聴させていただきます。次回は第3100回のキリのよい例会ですね。4月も宜しくお願い致します。

橋本正一君 新会員の小山さん、ようこそです。成田さん、細井さん、表彰おめでとうございます。杉田さん、卓話楽しみです。

平賀裕祥君 小山さん、ご入会おめでとうございます。これから一緒に楽しみましょう。

樋口康雄君 亮君、入会おめでとうございます。これからの奉仕活動楽しみです。益々のご活躍を期待しています。上原さん、TOTOのグラウンドありがとうございました。

大森翔平君 小山さん、入会おめでとうございます。これから一緒に楽しみましょう。

島崎英之君 新会員小山さん、ご入会おめでとうございます。杉田会長、卓話宜しくお願い致します。

[本日 13 件、15,000 円です]

卓話「みらい計画」杉田祐一会長



すぎたゆういち
2013年4月入会
1976年11月9日生まれ
税理士法人まこと会計 代表
職業分類：税理士
「理想未来へ 学び、楽しみ、奉仕する 我等が茅ヶ崎ロータリー」を实践する

今年度は親睦・奉仕・みらい計画・グローバルなつながりを四本柱としてやっていこうと考えていました。今日はその中の「みらい計画」についてお話させていただきます。「みらい計画」の背景にあるものは何かと言うと、RIアーチック会長の方針に「これからの3年間の目標を立てて、しっかりとクラブ運営していきましょう」というものがありまして、つまり今年度のみならず、加瀬年度・富田年度を含めた少なくとも3年間、しっかり見据えて目標設定していこう、ということです。中心になるのは次の4つです。「より大きなインパクトをもたらす」「基盤を広げる」「積極的なかわりを促す」「適応力を高める」。本日私がここ立っているのは、RI、地区から3年計画を立てる上で、「クラブ行動計画推進リーダー」を一人選出してくれ、という要請がこの1月にあり、クラブ全体を巻き込んでゆくという役割で、1月の理事会で私が今後3年間務めることが決まったからです。役割としては、地区の学習セッションへの参加であったり、例会での卓話、或いはフォーラムという形での話し合いといっ

った機会を作れたらと考えています。まだ、地区の方からは具体的な動きはありませんが、こういう方向でやっていくというものはあるので、それを皆さんにも伝えていきたいと思っています。

私はこの変化の時代にあっても、不易流行というものを大切にしていきたいと思えます。茅ヶ崎クラブの65年の伝統と格式を大切にしつつ、時代の流れ、時代の要請に応じて変化してゆく柔軟性。こうしたことを、普段はあまり触れることのない茅ヶ崎 RC の歴史から学んでみようと思えます。

先日、マレーシアの PKIK というところから、クラブ宛にメールが届きました。1995年にカジャン RC の支援を受けて、作られた施設です。ここでは少し学習障害をお持ちの子どもたち 34人が発達と学習を促進するプログラムを受け、その保護者の方たちにも家庭教育や学習などいろいろなサポートを実施、提供しています。そして、子どもたちは地域の活動に積極的にかかわり、コミュニティの一員として受け入れられています。本当に素晴らしい団体だと思います。うちのクラブがどのように関わったのかというと、1998年に PKIK にワゴン車を寄贈したところ、これがマレーシアのニュースとして取り上げられました。写真の左が当時の国際奉仕委員長の田中賢三さん、右が山口市己会長です。ここに至るまでにひじょうに多くのやり取りがありました。そもそもは台北西北クラブとの共同プロジェクトとして始まりました。どういうプロジェクトをやるかということについて、二度台北西北クラブを訪問し、国際ロータリーに問い合わせ、8つの候補があるという情報ももらって、揉んだ結果、マレーシアの支援をすることに決まったわけです。途中、予算を取り、PKIKを作ったカジャン RC ともやり取りをして、日本のマレーシア大使館にも訪問して、様々な問題を解決していったとのこと。年度が始まって間もない秋口に計画が始まり、実際に自動車を贈ったのが5月ということで、9か月あまりの長いスパンに亘ってこの計画が練られ、実行されたわけです。私は純粋にこのプロジェクトはすごいなと思っています。茅ヶ崎 RC が中心になって、カジャン RC、台北西北 RC、国際ロータリー、マレーシア大使館といった様々な組織を巻き込んで、プロジェクトを成立させていきました。



Yamaguchi (right) presenting a mock key to the van to Beh. Looking on is president of Rotary Club Kajang Rajan (second from left) and a representative from Chiqasaki.

卓話は別紙に続きます

ワゴン車の値段が約 200 万円。当時の 1 ドル 130 円のレートで茅ヶ崎と台北西北が約 80 万円ずつ、カジャンが 40 万円を出し合って購入しました。当時うちのクラブは会員が 54 名だったので、各会員から 1 万円ずつ、残り 26 万円をクラブ予算から支出しました。このプロジェクトを会員皆さんと一緒にやっという雰囲気が感じられます。子供たち一人ひとりからの感謝のメッセージの書かれた色紙も頂戴しています。



次に今から 6 年ほど前に行った「ビジネス体験隊 2019」についてご紹介します。皆さんの中にも関わっていただいた方もいらっしゃるかと思います。事業の目的としては、主に小学 5~6 年生にビジネスの大変さ疑似体験してもらおうというものでした。この事業を通じて、お金の大切さやお父さん・お母さんへの感謝の気持ちを知ってもらい、地域の未来を支える人材育成に繋がれば、という趣旨でした。この事業の特徴は産学官連携で、我々茅ヶ崎 RC はもちろんですが、茅ヶ崎市・寒川町、文教大学にも関わっていただき、密な連携を取りながら進めました。また、各自治体にも後援をいただきました。前年の岩澤年度に計画がされ、地区補助金をいただいて開催したので、事業計画や事後の報告もしっかりとさせてもらいました。4 日間に亘って子供たちにビジネス体験してもらおうというものでしたが、おそらく皆さんが会社を作って、商品を企画、事業計画を立て、横浜銀行さんに入ってもらい、資金調達、商品の仕入れ、広報活動、販売、そして最後は決算もするという本格的な流れでした。プロジェクト予算としましては、トータルで 80 万円ほどのうち、約 50 万円を地区補助金、残りの 30 万円強をクラブの予算として支出致しました。地区補助金を受けるためには最低でも 20%以上をクラブが出しなさいという規定もあり、この事業の場合には 40%ほどを出した形になります。

次に今から 6 年ほど前に行った「ビジネス体験隊 2019」についてご紹介します。皆さんの中にも関わっていただいた方もいらっしゃるかと思います。事業の目的としては、主に小学 5~6 年生にビジネスの大変さ疑似体験してもらおうというものでした。この事業を通じて、お金の大切さやお父さん・お母さんへの感謝の気持ちを知ってもらい、地域の未来を支える人材育成に繋がれば、という趣旨でした。この事業の特徴は産学官連携で、我々茅ヶ崎 RC はもちろんですが、茅ヶ崎市・寒川町、文教大学にも関わっていただき、密な連携を取りながら進めました。また、各自治体にも後援をいただきました。前年の岩澤年度に計画がされ、地区補助金をいただいて開催したので、事業計画や事後の報告もしっかりとさせてもらいました。4 日間に亘って子供たちにビジネス体験してもらおうというものでしたが、おそらく皆さんが会社を作って、商品を企画、事業計画を立て、横浜銀行さんに入ってもらい、資金調達、商品の仕入れ、広報活動、販売、そして最後は決算もするという本格的な流れでした。

プロジェクト予算としましては、トータルで 80 万円ほどのうち、約 50 万円を地区補助金、残りの 30 万円強をクラブの予算として支出致しました。地区補助金を受けるためには最低でも 20%以上をクラブが出しなさいという規定もあり、この事業の場合には 40%ほどを出した形になります。はじめは緊張して喋れないような子もいましたが、グループリーダー・ファシリテーターとして、富田さんや杉本さんに就いてもらい、しっかりと絆を築いてくれました。終了後にアンケートを取らせてもらいました。しっかりと検証しなければなりません。以下のような回答がありましたので、ご紹介しておきます。

【参加者アンケート結果】

- ①ビジネス体験隊に参加して、会社や働くことについて興味がわきましたか？
- | | |
|------------|-----|
| とても興味がわいた | 63% |
| まあまあ興味がわいた | 34% |
- ②ビジネス体験隊に参加して、将来起業してみたいと思いますか？
- | | |
|--------|-----|
| とても思う | 25% |
| まあまあ思う | 46% |
- ③活動の中で、自分で考えて自分の意見を言うことが出来ましたか？
- | | |
|----------|-----|
| とてもよくできた | 34% |
| まあまあできた | 64% |



④活動の中で、仲間の意見をきちんと聞くことが出来ましたか？

とてもよくできた 41%

まあまあできた 46%

⑤活動の中で、仲間と協力して目標に向かうことは出来ましたか？

とてもよくできた 57%

まあまあできた 32%

⑦具体的にどのように気持ちが変わりましたか？

- ・一人だけではできない役割もあり、友達は大切。
 - ・働くこと、会社やビジネスというのはとても大変だと思った。
 - ・人の気持ちを大切にしたいと思った。
 - ・いろいろな人の協力に感謝しようという気持ちになった。
 - ・みんなが関わって一つの社会というものを作っていることが分かった。
 - ・自分たちのために多くの人が時間を割いてくれて感謝の気持ちになった。
 - ・友達への態度や友達というものへの気持ちが変わった。
 - ・お金を稼ぐ大変さが分かり、親の大変さが分かった。
 - ・みんな苦勞してお金を稼いでいるということがわかった。
- ⑧活動を通じて、自分たちが住むまちに対してどのように思いましたか？
- ・子どもにお金の大切さや仕事の大変さを伝えてくれる人が茅ヶ崎に沢山いることが素敵だと思った。
 - ・あまりできないことをさせてくれて、ありがとうございました！
 - ・買ってくれた人、見に来てくれた人、みんな真剣に話を聞いてくれた。
 - ・優しさなどが販売をされていて、伝わってきた。
 - ・地域の方々の協力がいい街だと思いました。
 - ・こんなことをやらせてくれる、茅ヶ崎の人を生み出してくれたことをありがたかった。こういう企画をやってくれてうれしい。
 - ・自治会さんが買いに来てくれたと知り、とても好きになった。
 - ・4日間楽しかった。
 - ・起業するための仕組みが学べたことが良かった。
 - ・来年も出来たら出たい！
 - ・初対面なのに4日でこんなに仲良くなるとは思いませんでした。
 - ・こんな面白くていいグループだったので、会えないのが悲しい。またみんなに会いたい。
 - ・友達がたくさんできてよかった。
 - ・案外、初めての人にもなじむことができる自分がいることに気が付いた。
 - ・お金を使って本当の体験ができてよかった。
 - ・ビジネスは大変だけど、会社のメンバー、トレーナーさん、そのほかの協力してくれた人たちの笑顔とアドバイスにいつも支えられていました。
 - ・すごくいい経験になりました！

今後も「理想の未来へ 学び・楽しみ・奉仕する！我らが茅ヶ崎ロータリー」というスローガンとともに皆さんと進んでいきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



3/15 開催子ども食堂



3/20 開催「茅ヶ崎ロータリークラブラグビーカップ」